

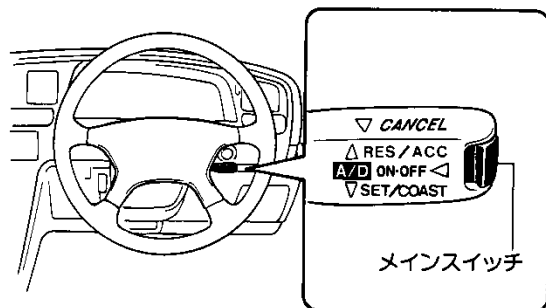
オートドライブ	108
TEMS	111
トラクションコントロール(TRC)	112
4輪ABS	114
ムーンルーフ	115
クリアランスソナー	118
SRSエアバッグ(乗員保護補助装置)	120

## オートドライブ

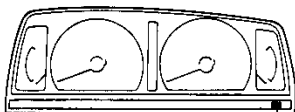
グランデGに標準装備

GTツインターボ、グランデに注文装備

オートドライブは、アクセルペダルを踏まなくても一定の速度(40km/h~100km/h)で走行できる装置です。

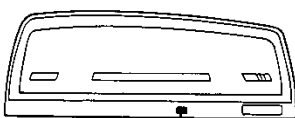


指針式メーター



作動表示灯

デジタル式メーター



作動表示灯

## A/D

ONにすると作動表示灯が点灯します。

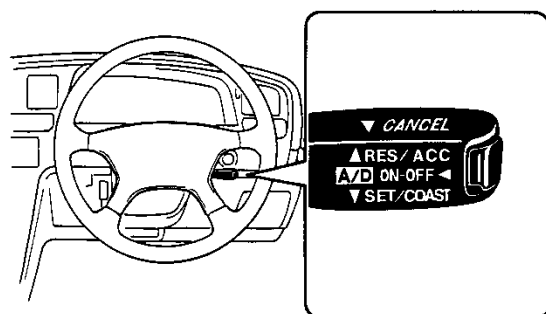
### ■メインスイッチ

オートドライブの電源スイッチです。

- スイッチを押すごとにONとOFFに切り替わります。
- 使用しないときはOFFにしておきます。



定速走行中、作動表示灯が点滅したときは装置の異常が考えられますので、トヨタ販売店で点検を受けてください。



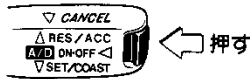
### ■コントロールレバー

オートドライブを操作するレバーです。


- RES/ACC……解除前の定速走行状態にもどすときや、セット速度を上げるときに使います。
- SET/COAST……希望速度をセットしたり、セット速度を下げるときに使います。
- CANCEL……定速走行をやめるときに使います。

## オートドライブを使って定速走行するときは(セットのしかた)

- ① メインスイッチを押してONにします。  
作動表示灯が点灯します。
- ② アクセルペダルで希望速度にします。
- ③ コントロールレバーを下げ (SET/COAST側)、手を離します。



以上の操作で定速走行できます。

 急な下り坂になるとセット速度より速度が上がることがあります。エンジンブレーキをかけた後、ブレーキを踏んで減速してください。

### セット速度を上げたいときは

次の2通りの方法があります。

#### アクセルペダルで上げる方法

- ① アクセルペダルで希望速度にします。
- ② コントロールレバーを下げ (SET/COAST側)、手を離します。



#### コントロールレバーで上げる方法

コントロールレバーを上げ続け (RES/ACC側)、希望速度になったら手を離します。



### セット速度を下げたいときは

次の2通りの方法があります。

#### ブレーキペダルで下げる方法

- ① ブレーキペダルで希望速度にします。
- ② コントロールレバーを下げ (SET/COAST側)、手を離します。



#### コントロールレバーで下げる方法

コントロールレバーを下げ続け (SET/COAST側)、希望速度になったら手を離します。



## — 時的に加速したいときは —

アクセルペダルで加速します。

アクセルペダルを離せば、加速前の定速走行状態にもどります。

## — 時的に減速したいときは —

ブレーキペダルで減速します。

定速走行が解除されます。

コントロールレバーを上げ(RES/ACC側)手を離すと、減速前の定速走行状態にもどります。



## — 定速走行をやめたいときは —

コントロールレバーを手前(CANCEL側)に引くか、メインスイッチをOFFにします。



次の場合、定速走行は自動的に解除されます。

- |                                     |                       |
|-------------------------------------|-----------------------|
| ① ブレーキペダルを踏んだとき                     | ② クラッチペダルを踏んだとき(M/T車) |
| ③ 急な上り坂などでセット速度より約16km/h以上速度が低下したとき | ④ 速度が約40km/h以下になったとき  |



コントロールレバーで定速走行を解除したときや、上記①②により解除したときは、コントロールレバーを上げ(RES/ACC側)手を離せば、解除前の定速走行状態にもどります。



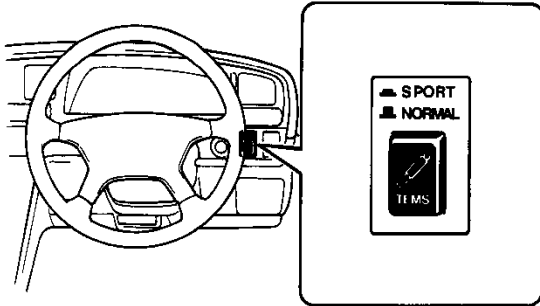
● 下記のような道路ではオートドライブは使用しないでください。

- |  |                      |
|--|----------------------|
| ● 交通量の多い道路                                       | ● 急な下り坂              |
| ● 急カーブ   | ● 凍結路や積雪路などのすべりやすい路面 |
| ● 定速走行中にクラッチペダルを踏まずにチェンジレバーを①の位置にしないでください。(M/T車) |                      |

## TEMS

グランデG、グランデ(IG-FE車を除く)

走行状態に応じてショックアブソーバーの減衰力がかわる装置です。



### ■選択スイッチ & 表示灯

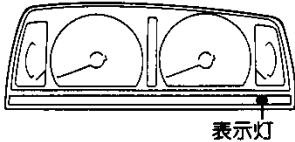
スイッチを押すごとにノーマルとスポーツに切り替わります。

スポーツを選択すると表示灯が点灯します。

通常はノーマルで使用します。

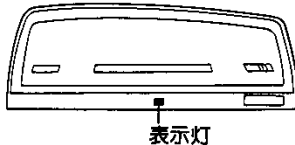
減衰力が「普通」、「少し硬め」、「硬め」の3段階に自動的に切り替わります。

指針式メーター



表示灯

デジタル式メーター

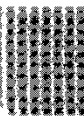


表示灯

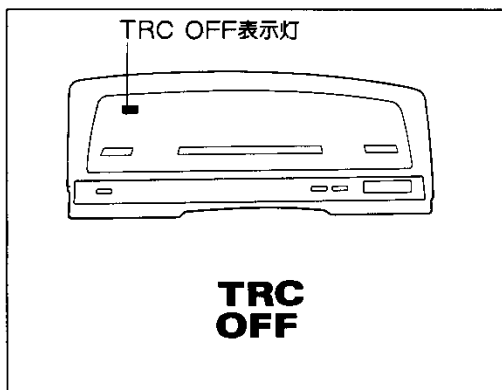
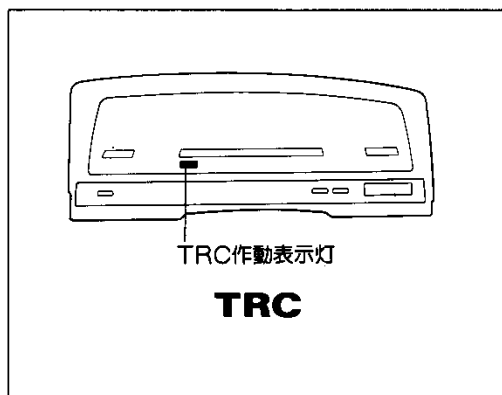
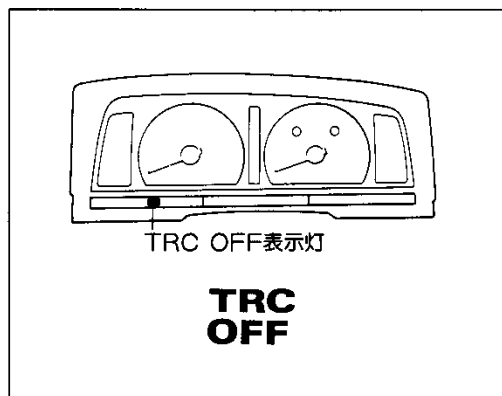
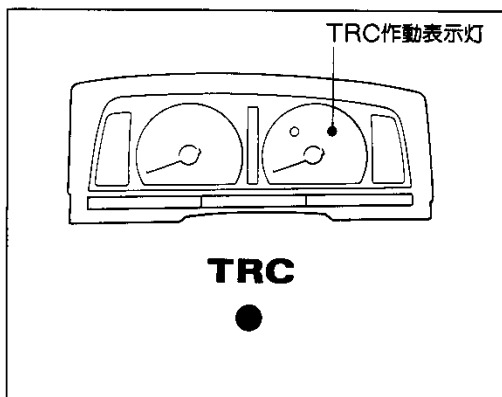
**TEMS  
SPORT**

硬めの乗り心地を好まれるかたはスポーツにします。

減衰力が「少し硬め」、「硬め」に自動的に切り替わります。



特別  
装備  
の  
使  
い  
方



## トラクションコントロール(TRC)

GTツインターボ、グランデGに標準装備

グランデ(IJZ-GE車)に注文装備

トラクションコントロールは、すべりやすい路面での発進時に生じる後輪の空転を制御し、車両の安定性と後輪の駆動力を確保する装置です。

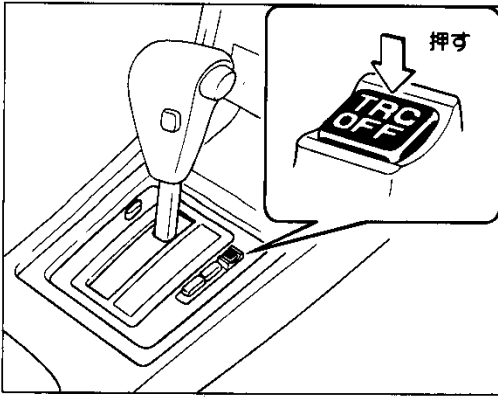
### ■TRC作動表示灯 & OFF表示灯

1. エンジンスイッチをONにすると作動表示灯およびOFF表示灯が点灯し、約3秒後に消灯します。同時にトラクションコントロールが作動可能状態になります。
2. トラクションコントロールが作動すると作動表示灯が点滅します。
3. トラクションコントロールが作動停止状態のときはOFF表示灯が点灯します。  
通常走行時はできるだけ作動可能状態(OFF表示灯が消灯)で使用してください。



注意!

1. トラクションコントロールが作動しているときは、車両がすべりやすい状態になっていますので、作動表示灯が点滅しないよう慎重に運転してください。
2. トラクションコントロール付きの車両でも氷雪路面、凍結路面ではスノータイヤ、タイヤチェーンを装着し、ひかえめな速度で運転してください。
3. 走行中、作動表示灯が点灯した場合は装置の異常が考えられますので、トヨタ販売店で点検を受けてください。



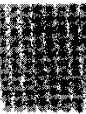
### ■TRC OFFスイッチ

スイッチを押すごとに作動停止状態と作動可能状態が交互に切り替わり、作動停止状態になるとTRC OFF表示灯が点灯します。



ちよつと一言

1. トラクションコントロールが正常に作動しているときは、車両の振動や沈み込みを感じることがありますが、これはブレーキ制御の作用によるもので異常ではありません。
2. エンジンを始動するとエンジンルームから“カチカチ、トン”等の音がしますが、これはトラクションコントロールの作動をチェックしている音で異常ではありません。
3. ぬかるみ、新雪等からの脱出時、アクセルペダルを踏み込んでもエンジン回転が上がらない場合があります。



## 4輪ABS

GTツインターボ、グランデGに標準装備

グランデに注文装備

急制動時やすべりやすい路面での制動時には、車輪がロックすることがあります。

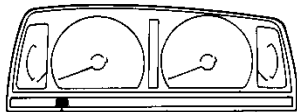
4輪ABSはこの車輪のロックを自動的に防止し、車両の姿勢を安定させるとともにハンドルを効かせようとする装置です。

普通のブレーキと同じようにブレーキペダルを踏むだけで特別な操作はいりませんが、次のことに注意してください。



- 4輪ABSは制動距離を短くすることをねらいとした装置ではありません。また、4輪ABSが作動した状態でも車両姿勢の安定やハンドルの効き方には限界がありますので、ハイドロブレーキング現象が起こりやすい雨天時の高速走行などにおいても過信せず、安全運転に心がけてください。
- 悪路、ジャリ道、深い新雪などの路面では、4輪ABSのついていない車両に比べて制動距離が長くなる場合がありますので、速度をひかえめにし車間距離を十分とって運転してください。

指針式メーター



ABS警告灯

デジタル式メーター



ABS警告灯

## ■ABS警告灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。

# ABS



処置

点灯したままのときは装置の不具合が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。この場合、4輪ABSは作動せず、普通のブレーキとして作動します。

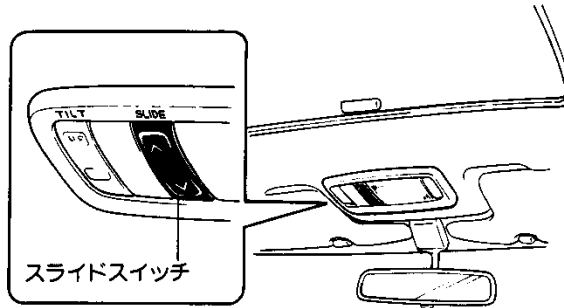


4輪ABSが作動すると、作動音とともにブレーキペダルに脈動を感じることがありますがこれは異常ではありません。

## ムーンルーフ

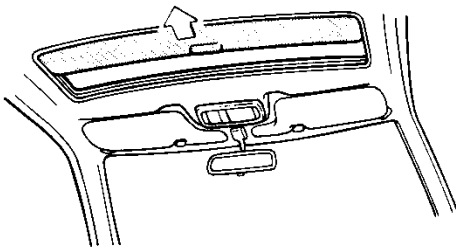
注文装備

## スライド開閉のしかた



## 開け方

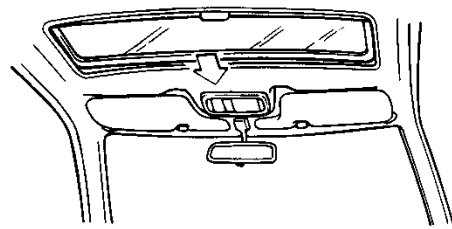
- ① エンジンスイッチをONにします。
- ② スライドスイッチのうしろ側をピーという音がするまで押し続けると自動的に全開します。



途中で止めたいときは、もう一度スイッチを押します。

## 閉じ方

- ① エンジンスイッチをONにします。
- ② スライドスイッチの前側をピーという音がするまで押し続けると自動的に全閉します。

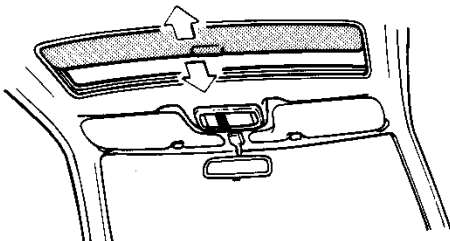


途中で止めたいときは、もう一度スイッチを押します。



全閉になる手前でいったん停止し、ピッピッという警告音とともに再び閉まりはじめます。

## サンシェード

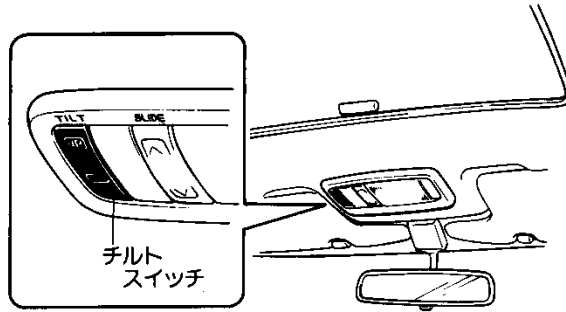


ムーンルーフを開けると連動して開きます。  
手動でも開閉できます。

特別装備の使い方

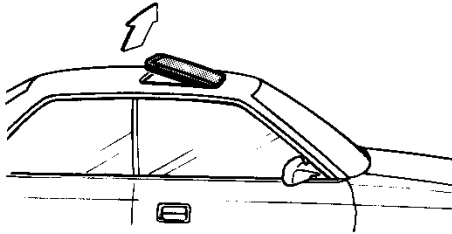
チルトアップ、ダウンのしかた

ムーンルーフの後端を上げることができ、換気効果を高めます。



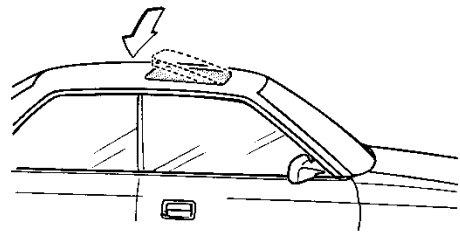
チルトアップのしかた

- ① エンジンスイッチをONにします。
- ② チルトスイッチのうしろ側（UP側）をピーという音がするまで押し続けると自動的にチルトアップします。



チルトダウンのしかた

- ① エンジンスイッチをONにします。
- ② チルトスイッチの前側をピーという音がするまで押し続けると自動的にチルトダウンします。



降車時ムーンルーフを閉め忘れたときは

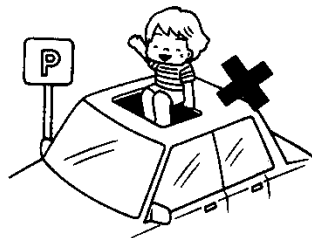
もう一度エンジンスイッチをONにしなくても、ムーンルーフを閉めることができます。  
運転席ドアを開けたまま、ムーンルーフスイッチを操作します。



- 運転席ドアをいったん閉じるとスイッチを操作しても作動しません。
- チルトアップしたままで、エンジンスイッチをONからACCまたはLOCKの位置にすると、ブザーが鳴りムーンルーフの閉め忘れを警告します。



- 開口部に腰かけないでください。



- 開けるときはルーフに水や雪がないことを確認してください。

## スイッチを押しても作動しないときは(故障時の閉め方)

スイッチを約10秒間押し続けると閉まり始めます。

完全に閉まるまで押し続けてください。

- 開いているときはスライドスイッチの前側
- チルトアップしているときはチルトスイッチの前側

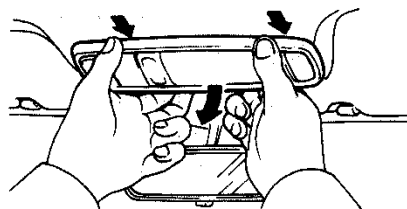
以上の操作をしても作動しないときは、次の処置をして、トヨタ販売店で点検を受けてください。



工具袋からL字形のムーンルーフ用⊖ドライバーを準備します。

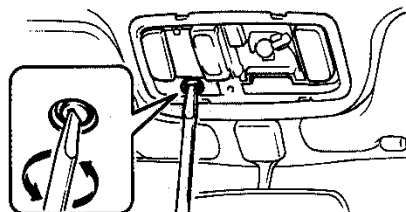
①

スイッチのカバーを前方に押したまま、前側からはずします。

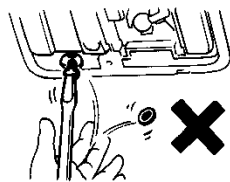


②

駆動軸下部のネジをムーンルーフ用⊖ドライバーで取りはずします。



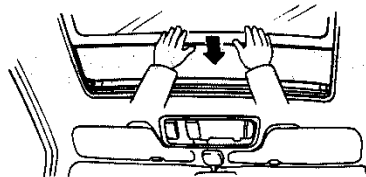
ネジを取りはずすときに、ワッシャーおよびシムを紛失しないようにネジがゆるんできたら指を使って取りはずすようにしてください。



### 全閉させるとき

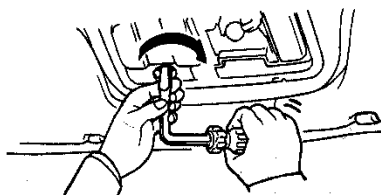
①

手でムーンルーフを全閉近くまで動かします。



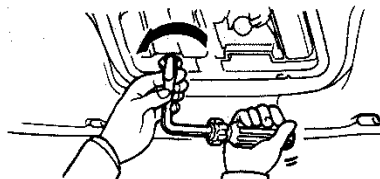
②

ムーンルーフ用⊖ドライバーで駆動軸を右に回して完全に閉じます。



### チルトダウンさせるとき

ムーンルーフ用⊖ドライバーで駆動軸を左に回して閉じます。

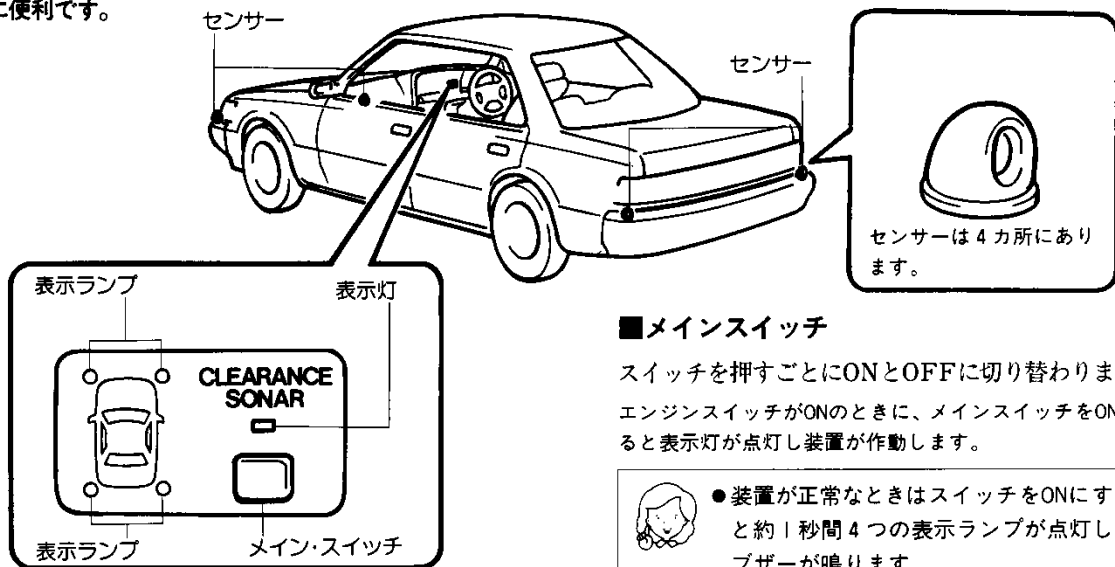


駆動軸を回しすぎると、チルトアップしたり、ムーンルーフが開きます。この場合は、反対方向に回して完全に閉じてください。

クリアランスソナー

注文装備(寒冷地仕様車、スノーバージョンを除く)

車両と障害物とのおよその間隔を表示ランプとブザーで運転者に知らせる装置で、車庫入れや縦列駐車などのときに便利です。



■メインスイッチ

スイッチを押すごとにONとOFFに切り替わります。エンジンスイッチがONのときに、メインスイッチをONにすると表示灯が点灯し装置が作動します。

- 装置が正常なときはスイッチをONすると約1秒間4つの表示ランプが点灯し、ブザーが鳴ります。
- 次の場合、スイッチがONでも装置は作動しません。
  - エンジンスイッチがACCまたはLOCKのとき
  - チェンジレバーがPの位置のとき (A/T車)
  - 車速が約10km/h以上のとき

表示ランプの見方とブザーの鳴り方

メインスイッチをONしておけば、表示ランプとブザーが次のように作動します。

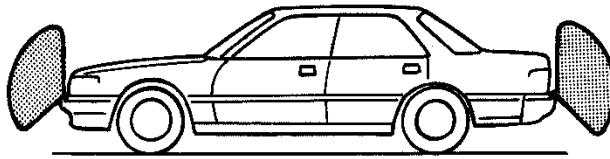
(例) 車の左側前方に障害物がある場合

車と障害物との位置関係	約50cm以上	約50cm～約20cm	約20cm以内
表示ランプ	(消灯)	(左上の表示ランプが点滅)	(左上の表示ランプが点灯)
ブザー音	— (なし)	ピッピッピ (断続音)	ピー (連続音)

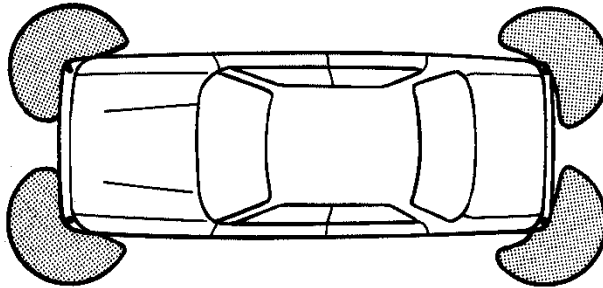
特別装備の使い方



- 感知できる範囲は下図のとおり車両コーナー部付近に限られていますので、必ず周辺の安全を確認しながら運転してください。



各センサーから約50cm以内の障害物を感知します。



- 感知範囲にはアクセサリ等を取りつけないでください。

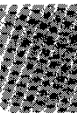
- 次の場合、装置が正常に作動しないことがあります。

- センサーに氷、雪、泥などが付着したとき
- 炎天下や寒冷時に長時間駐車したとき
- でこぼこ道、坂道、草むら走行時など
- 他車のホーン、オートバイのエンジンなどの超音波を発生するものが近づいたとき
- どしゃぶりの雨や水しぶきがかかったとき
- 無線機用アンテナを車につけたとき
- 超音波雨滴除去ミラーが作動しているとき

- 次のようなものは感知しないことがあります。

- 針金、ロープなどの細いもの
- 綿、雪などの音波を吸収しやすいもの
- 背の低い物体

- バンパーをぶつけたときや表示ランプが点灯したまま（ブザー音はなし）のときは、装置の異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。



## SRSエアバッグ(乗員保護補助装置)

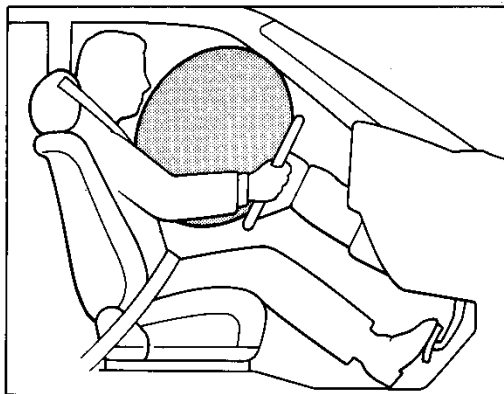
GTツインターボ、グランデG、グランデ(IG-FE車を除く)に注文装備

エアバッグはシートベルトの補助装置で、車両前方から強い衝撃を受けたとき運転者の顔面への衝撃をやわらげます。

シートベルトは必ず装着してください。

運転者の方が操作するスイッチはありません。

- エアバッグは、車両前方から強い衝撃を受けたときに作動します。



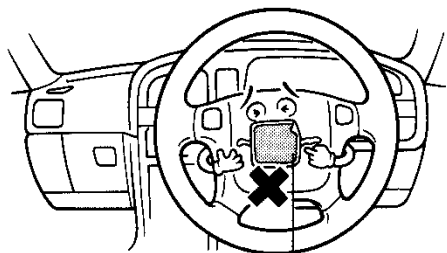
横や後部からの衝撃に対しては、作動しないことがあります。

- エアバッグは一度ふくらむと再使用できません。必ずトヨタ販売店で交換してください。



注意!

- エアバッグの効果を十分に発揮させるため、次の項目を必ず守ってください。
  - シートを正しい位置に調整する。
  - シートベルトを装着する。
  - パッド部にステッカーを貼ったり、カバーをつけない。



ステッカー

- ハンドルまわりに用品を取りつけるときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。
- ハンドルの取りはずしや他の車両への取りつけは絶対にしないでください。